

平成 29 年 11 月臨時会

平成 29 年 11 月 2 日

市 長 説 明 要 旨

本日、平成 29 年 11 月臨時会を招集いたしましたところ、ご出席を賜りましてありがとうございます。

本臨時会でご審議いただきます議案件は、複合観光施設外構等整備工事請負契約の締結など 3 件であります。提案理由の説明に先立ちまして、諸般の報告を申し上げます。

まず、公用車の車検切れ運行についてであります。

企業局上下水道課で車検が切れた状態の公用車を 8 月 31 日から運行していたことが先月 31 日判明し、道路運送車両法に抵触する恐れがあることから、同日、男鹿警察署に届け出しております。

企業局では、車両管理規程に基づき、公用車の効率的な運用と適正な管理に努めてきたところでありますが、局内公用車の管理に対する意識が不足していたために起きたものであります。

今後は、毎朝の朝礼等で、局内公用車の管理体制の強化に努めてまいります。

次に、JR 男鹿駅舎の移転についてであります。

市では、現在整備中の複合観光施設により近い位置に駅舎が移転されることで、JR 男鹿線との連携による誘客の強化や、鉄道利用者及び観光客の利便性の向上が見込まれることから、駅舎の移転について JR 東日本へ強く要望してまいりました。

これを踏まえ JR 東日本では、JR 男鹿駅について、来年 7 月の複合観光施設のグランドオープンに合わせて、スムーズな乗降の確保と安全・サービスの向上を図るとともに、両施設が連携した空間になることで、男鹿観光の新たな拠点づくりになることから、現在の駅舎から複合観光施設側に頭端型の構造に変更し移転する計画に着手することとなりました。

先月 31 日に J R 東日本と男鹿市とで、駅舎の移転並びに男鹿観光の新たな拠点となる男鹿駅整備等について共同記者会見を行いました。

駅舎と複合観光施設のアクセスが向上することで、地域の観光振興、産業振興の場となり、相乗効果により男鹿観光や船川地区の活性化に繋がることが大いに期待されることから、今後、新たな駅前広場等の賑わい創出と駅周辺全体の街づくりについて早急に取り組み、J R 東日本と協議するとともに、議会からもご意見を伺ってまいりたいと考えております。

次に、複合観光施設の愛称募集についてであります。

先月 23 日に、市と株式会社おがと市民で構成される複合観光施設愛称選定委員会により選考を行った結果、施設の愛称が「オガール」に決まりました。

愛称募集には全国から 303 件の応募があり、男鹿の観光拠点として多くの人々が集い、笑顔と活気があふれる施設に成長してほしいという思いから、男鹿市の“オガ”と成長する“オガル”を掛け合わせた「オガール」が選定されました。

なお、この名称の応募者は男鹿市の方でありました。市内外から、たくさんのご応募がありましたことを、この場をお借りして改めてお礼申し上げますとともに、皆様に末永く愛され親しまれる施設を目指して整備してまいります。

次に、急速冷凍設備の導入のための「国産水産物流通促進事業」申請状況についてであります。

水産事業者では 7 月に二次募集に再度臨んだものの、不採択となったことから、不採択理由を分析、改善した上で、10 月 4 日付

けで応募したところであります。

こうしたところ、先月 27 日に、水産物安定供給推進機構から水産事業者に対し、今月 15 日に開催する事業採択に向けた、事業推進評価委員会への出席について連絡があったものであります。

次に、台風 21 号の通過に伴う被害状況についてであります。

超大型の台風 21 号が先月 23 日昼頃に本県に接近し、大雨や暴風・高潮等による災害の発生が懸念される状況であったことから、22 日午後 7 時に災害対策警戒部を設置いたしました。

この台風に伴う被害状況につきましては、一般の建物で住家 1 棟の屋根の剥離被害がありました。

次に、ねんりんピック秋田 2017 男鹿市交流大会についてであります。

9 月 9 日から 11 日まで行われました第 30 回全国健康福祉祭あきた大会男鹿市交流大会は、ラグビーフットボールとミニテニスの 2 種目が行われ、合わせて 592 人の選手をお迎えいたしました。

大会では、主役である高齢者の方々のはつらつとしたプレーに驚きと感動をいただき、生きがいと健康づくりが豊かな人生を支えることを実感いたしました。

また、世代を超えた交流とおもてなしで男鹿市の PR を目指した実行委員会の各種イベントも好評を得て、3 日間で延べ 7,499 人が来場いたしました。なお、期間中の市内宿泊者は延べ 2,308 人であったと報告されております。

大会後には、各地から多くの感謝の言葉が届いており、運営に携わっていただいた関係者、ボランティアの方々に改めて感謝いたします。

また、市議会の皆さまからも開始式にて、選手を温かい拍手でお出迎えいただきましたことに重ねてお礼を申し上げます。

次に、第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！男鹿大会についてであります。

本大会は、「元気で賑わいのある秋田」の実現を図ることを目的として、市町村持ち回りで開催しております。

今年は本市において9月30日に開会式、10月1日に競技が行われ、県内全市町村から34チーム、監督、コーチ、選手を含め586人が参加いたしました。

本市からは2チームが参加し、過去最高となる10位と健闘したところであります。また、2日間にわたり各地域の物産販売等も開催し、賑わいの創出に努めたところであります。

なお、大会実行委員会によりますと、今大会の延べ来場者数は約4,500人と伺っております。

次に、第8回日本ジオパーク全国大会男鹿半島・大潟大会についてであります。

本大会は、先月25日から27日まで、男鹿市民文化会館を主会場として、東北地方で初めて開催されました。

25日は、男鹿市民文化会館で開会セレモニー、基調講演、ポスターセッションなどが行われ、大会参加者・関係者など約1,200人が参加いたしました。

翌26日には、男鹿温泉郷とサンルーラル大潟などを会場に、「ジオパークと地域振興のあした」などについて話し合う10の分科会が開催され、約700人が参加いたしました。

また、閉会セレモニー終了後に1泊2日の日程で県内9コース

のジオツアーが行われ、約 300 人が参加いたしました。

大会期間中は天候にも恵まれ、「ジオの恵み物産展」では県内各地域の物産販売等を行い、地域のPRにも努めたところであります。

この大会を通して、県外から参加された多くの方々からは、素晴らしい大会運営であったとお褒めの言葉や、男鹿半島の豊かな自然に触れ、改めてプライベートで訪れたいといった声をいただきました。

運営にあたりご協力をいただいた関係各位に対し厚くお礼を申し上げます。

以上で諸般の報告を終わり、次に提案理由のご説明を申し上げます。

まず、議案第 92 号平成 29 年度男鹿市一般会計補正予算（第 6 号）の専決処分については、9 月 28 日の衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に要する経費の予算措置について、予算の専決処分をしたもので、その承認を求めるものであります。

次に、議案第 93 号複合観光施設外構等整備工事請負契約の締結については、10 月 13 日に条件付き一般競争入札を執行した結果、男鹿市船川港船川字海岸通り二号 6 番地 2 株式会社沢木組 代表取締役 沢木則明が、1 億 7,906 万 4 千円で落札したので、本契約を締結するものであります。

次に、報告第 15 号和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分については、法人が所有する自動車が側溝の不具合により損傷した事故に伴う和解及び損害賠償額の決定について専決処分をしたも

ので、これを報告するものであります。

以上、提案理由についてご説明を申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご可決、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

